

ANA VISION 2019

第74回 定時株主総会決議ご通知 第69期のご報告(2018年4月1日～2019年3月31日)

■「すべてのひとに優しい空」を——ANAのユニバーサルなサービス



東京都港区東新橋一丁目5番2号
ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長 片野坂 真哉

第74回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日開催の当社第74回定時株主総会におきまして、下記の通り報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項**
1. 第69期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第69期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は上記報告事項の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は原案通り承認可決され、期末配当金は1株につき75円とさせていただきます。

第2号議案 取締役10名選任の件

本件は原案通り承認可決され、取締役に伊東 信一郎、片野坂 真哉、長峯 豊之、高田 直人、伊東 裕、福澤 一郎、平子 裕志、森 詳介、山本 亜土、小林 いずみの各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は原案通り承認可決され、監査役に加納 望氏が選任され、就任いたしました。

第4号議案 監査役の報酬等の額改定の件

本件は原案通り承認可決され、報酬枠を月額から年額に改めるとともに、監査役の報酬額を総額で月1,000万円以内(年額1億2,000万円以内)から、総額で年1億8,000万円以内に改定させていただきます。

以上

期末配当金のお支払いについて

第69期期末配当金は同封の「第69期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行の本支店もしくは出張所または郵便局で、払渡期間内(2019年6月24日〈月〉から同年7月31日〈水〉まで)にお受け取りください。

なお、お振込先をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しておりますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。また、株式数比例配分方式をご選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

※同封しております「配当金計算書」が「支払通知書」を兼ね、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけますので、お手元に保管願います。

経営基盤を固め、持続的な成長に向けて取り組んでまいります



ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長

片野坂 真哉

2019年6月

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期は主力である航空事業において、堅調な需要を捉え、売上高は初めて2兆円を超え、営業利益も4期連続で過去最高を更新することができました。配当は期初の計画より5円増額し、1株当たり75円とさせていただきました。

本年も4月1日の入社式では私自身から、新入社員に「安全が最優先」であり「安全こそ経営の基盤」と呼び掛けました。「平成」から「令和」へと時代が変わる節目となる本年を、ANAグループとしては2020年度に向けた「安全と品質・サービスの総仕上げ」の年と位置付け、経営の基盤固めに努めてまいります。

ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による訪日客の増加、首都圏の空港発着枠拡大などは、ANAグループにとって成長の追い風となります。こうしたビジネスチャンスを実に捉え「2018～2022年度ANAグループ中期経営戦略」の2年目となる本年度は、LCC事業を担うPeachとバニラエアの統合、エアバスA380型機のホノルル線への就航、ボーイング777型貨物専用機の導入、総合トレーニングセンター「ANA Blue Base」の開設等を進めてまいります。

今後もすべての事業で収益性を高め、財務基盤の健全性を維持した上で成長投資を継続して行いつつ、株主還元を充実し、グローバルなエアライングループとして成長してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きANAグループにご期待いただき、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

売上高は初めて2兆円を超え、 営業利益は4期連続で過去最高を更新、 前期の特別利益の影響で最終減益に

A 売上高、営業費用

航空事業を中心に増収となり、売上高は2兆583億円と過去最高を更新。一方、燃油費や事業規模拡大に伴う費用の増加はあったが営業費用を1兆8,932億円に抑える。

B 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益は1,650億円と4期連続で過去最高を更新したものの、航空機部品の除却増により、経常利益は1,566億円に。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、Peachの連結子会社化に伴う特別利益を計上した前期に比べると減益となり1,107億円に。

C 資産

航空機の取得等により、前期末から1,246億円増加。

D 有利子負債残高

借入金の返済を進め、7,886億円に減少。

E 自己資本、自己資本比率

利益剰余金の増加等により、自己資本は1兆994億円に増加。自己資本比率は40.9%に。

F 設備投資

航空機の取得をはじめ、3,758億円の設備投資を実施。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

| (単位 億円) | 前期 | 当期 | 増減 | 前期比増減率(%) |
|------------------|---------|---------|-------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,160 | 2,961 | △ 198 | △ 6.3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 3,244 | △ 3,086 | 158 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 299 | △ 464 | △ 164 | — |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 2,705 | 2,118 | △ 586 | △ 21.7 |
| 減価償却費 | 1,504 | 1,595 | 91 | 6.1 |
| F 設備投資(固定資産のみ) | 3,047 | 3,758 | 711 | 23.4 |

● 営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益



● 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

| (単位 億円) | 前期 | 当期 | 増減 | 前期比増減率(%) |
|------------------------|---------|---------|-------|-----------|
| 【連結損益計算書】 | | | | |
| A 売上高 | 19,717 | 20,583 | 865 | 4.4 |
| 営業費用 | 18,072 | 18,932 | 860 | 4.8 |
| 営業利益 | 1,645 | 1,650 | 5 | 0.3 |
| 営業外収益 | 126 | 165 | 39 | 31.6 |
| 営業外費用 | 164 | 249 | 84 | 51.2 |
| 経常利益 | 1,606 | 1,566 | △ 39 | △ 2.5 |
| 特別利益 | 447 | 68 | △ 379 | △ 84.8 |
| 特別損失 | 87 | 94 | 7 | 8.2 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,966 | 1,540 | △ 426 | △ 21.7 |
| 法人税等 | 510 | 421 | △ 88 | △ 17.3 |
| 当期純利益 | 1,456 | 1,118 | △ 338 | △ 23.2 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 17 | 10 | △ 6 | △ 39.5 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,438 | 1,107 | △ 331 | △ 23.0 |
| (EBITDA) ^{※1} | (3,149) | (3,245) | (96) | 3.1 |
| 【連結包括利益計算書】 | | | | |
| 当期純利益 | 1,456 | 1,118 | △ 338 | △ 23.2 |
| その他の包括利益 | 168 | 297 | 129 | 76.7 |
| 包括利益 | 1,624 | 1,416 | △ 208 | △ 12.8 |

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費

※金額は表示単位未満の端数を切り捨てています。
 ※前期は2017年4月1日～2018年3月31日、
 当期は2018年4月1日～2019年3月31日です。
 ※前期末は2018年3月31日現在、当期末は2019年3月31日現在です。

● 連結貸借対照表

| (単位 億円) | 前期末 | 当期末 | 増減 |
|--------------|--------|--------|-------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 7,234 | 7,002 | △ 232 |
| 現金及び預金 | 780 | 683 | △ 97 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 1,734 | 1,806 | 71 |
| 有価証券 | 2,795 | 2,253 | △ 541 |
| 貯蔵品 | 501 | 484 | △ 16 |
| その他 | 1,423 | 1,774 | 351 |
| 固定資産 | 18,384 | 19,863 | 1,479 |
| 有形固定資産 | 14,331 | 15,470 | 1,139 |
| 建物及び構築物 | 989 | 972 | △ 16 |
| 航空機 | 10,279 | 10,626 | 347 |
| 土地 | 557 | 542 | △ 15 |
| 建設仮勘定 | 2,023 | 2,866 | 843 |
| その他 | 481 | 462 | △ 18 |
| 無形固定資産 | 1,552 | 1,551 | △ 0 |
| 投資その他の資産 | 2,501 | 2,841 | 340 |
| 投資有価証券 | 1,199 | 1,591 | 392 |
| 繰延税金資産 | 933 | 853 | △ 80 |
| その他 | 368 | 396 | 28 |
| 繰延資産 | 4 | 5 | 0 |
| C 資産合計 | 25,624 | 26,871 | 1,246 |

● 総資産、自己資本^{※2}、自己資本比率



| | 前期末 | 当期末 | 増減 ^{※5} |
|---------------------------|---------|----------|------------------|
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 6,480 | 6,859 | 378 |
| 営業未払金 | 2,203 | 2,236 | 33 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 847 | 778 | △ 68 |
| 1年内償還予定の社債 | 100 | 300 | 200 |
| その他 | 3,330 | 3,543 | 213 |
| 固定負債 | 9,138 | 8,918 | △ 219 |
| 社債 | 2,650 | 2,550 | △ 100 |
| 長期借入金 | 4,181 | 4,068 | △ 113 |
| 退職給付に係る負債 | 1,567 | 1,582 | 14 |
| その他 | 738 | 718 | △ 20 |
| 負債合計 | 15,619 | 15,778 | 158 |
| D (有利子負債残高) ^{※3} | (7,983) | (7,886) | (△ 97) |
| (D/Eレシオ(倍)) ^{※4} | (0.8) | (0.7) | (△ 0.1) |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 9,857 | 10,666 | 809 |
| 資本金 | 3,187 | 3,187 | — |
| 資本剰余金 | 2,682 | 2,584 | △ 97 |
| 利益剰余金 | 4,577 | 5,484 | 906 |
| 自己株式 | △ 590 | △ 590 | △ 0 |
| その他の包括利益累計額 | 29 | 327 | 298 |
| その他有価証券評価差額金 | 244 | 376 | 131 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 34 | 106 | 141 |
| その他 | △ 180 | △ 154 | 25 |
| 非支配株主持分 | 118 | 99 | △ 19 |
| 純資産合計 | 10,005 | 11,093 | 1,087 |
| E (自己資本) ^{※2} | (9,886) | (10,994) | (1,107) |
| (自己資本比率(%)) | (38.6) | (40.9) | (2.3) |
| 負債純資産合計 | 25,624 | 26,871 | 1,246 |

※2 自己資本は純資産合計から非支配株主持分を控除しています。
 ※3 有利子負債残高にはオフバランスリース負債は含んでいません。
 ※4 D/Eレシオ=有利子負債残高÷自己資本
 ※5 自己資本比率はポイントです。

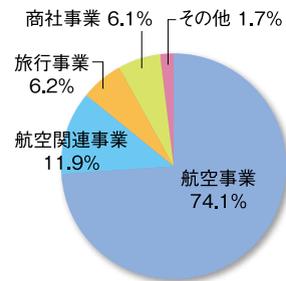
連結対象会社の状況(2019年3月31日現在)

・連結子会社 62社(除外2社)
 ・持分法適用会社 16社(変更なし)

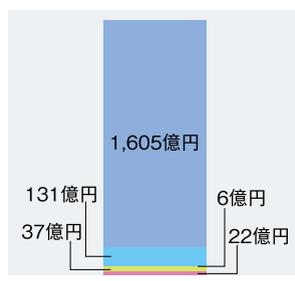
セグメント別の概況

2018年4月1日～2019年3月31日

●売上高構成比



●営業利益



●売上高と営業利益

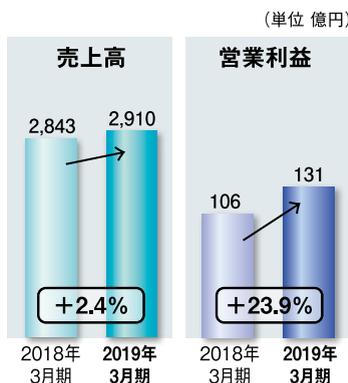
■航空事業 (詳細は右ページをご覧ください)

- 国際線旅客が好調を持続。国内線旅客、国際線貨物、LCCも売り上げを伸ばし増収。
- 燃油費や「安全と品質・サービス」や「人」に対する費用の増加があったものの増益。



■航空関連事業

- 福岡空港をはじめとした搭乗受付や手荷物搭載等の空港地上支援業務の受託が増加。
- 外国航空会社からの機内食関連業務の受託も増加し増収・増益。



■旅行事業

- 自然災害の影響等により国内旅行が減収。
- 欧州方面の集客は堅調だったが、ダイナミックパッケージ商品「旅作」が伸び悩み海外旅行が減収。
- 新しい旅行システムの導入に伴う費用増も加わり減益。



■商社事業

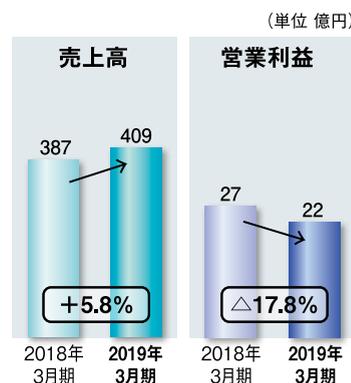
- 空港免税店「ANA DUTY FREE SHOP」等のリテール部門が訪日旅客の需要を取り込み好調。
- 食品部門の生鮮食品の取扱高の増加もあり増収。
- 航空・電子部門や生活産業部門の利益減少が影響し減益。



■その他*

- 航空保安警備事業が堅調に推移する等、増収。
- 不動産関連事業の利益減少が影響し減益。

*不動産・ビルメンテナンス、航空保安警備、人材・ビジネスサポート、シンクタンク等の事業で構成。



※売上高・営業利益にはセグメント間の内部取引を含んでいます。
 ※金額、数量は、表示単位未満の端数を切り捨てています。
 ※前期は2017年4月1日～2018年3月31日、当期は2018年4月1日～2019年3月31日です。
 ※利用率の増減率(%)は、前期差(ポイント)を示しています。

■航空事業

国内線旅客

- 相次ぐ自然災害やエンジンの点検整備による欠航が影響。
- ビジネス・訪日旅客需要の取り込みで旅客数・収入共に増加。
- 10月から運賃ラインナップを変更。

| | 前期 | 当期 | 増減率(%) |
|---------------|-------|-------|--------|
| 旅客収入 (億円) | 6,897 | 6,966 | 1.0 |
| 旅客数 (万人) | 4,415 | 4,432 | 0.4 |
| 座席キロ*1 (億席キロ) | 584 | 584 | 0.1 |
| 旅客キロ*2 (億人キロ) | 402 | 407 | 1.1 |
| 利用率*3 (%) | 68.9 | 69.6 | 0.7 |

国際線旅客

- 好調なビジネス・訪日需要を取り込み旅客数・収入共に増加。
- 羽田ーウィーン線を開設、羽田ーバンコク線を増便。
- 機内食でアレルギー対応のグルテンフリー米粉パンを提供。

| | 前期 | 当期 | 増減率(%) |
|---------------|-------|-------|--------|
| 旅客収入 (億円) | 5,974 | 6,515 | 9.1 |
| 旅客数 (万人) | 974 | 1,009 | 3.6 |
| 座席キロ*1 (億席キロ) | 643 | 659 | 2.5 |
| 旅客キロ*2 (億人キロ) | 491 | 507 | 3.3 |
| 利用率*3 (%) | 76.3 | 77.0 | 0.6 |

貨物

- 北米・欧州向け自動車関連部品等の国際貨物需要が好調。
- イールドマネジメントの強化等で国際線貨物収入が増収。
- 沖縄ハブネットワークの規模適正化等で収益性を改善。

| 国内線貨物 | 前期 | 当期 | 増減率(%) |
|-------------------|-------|-------|--------|
| 貨物収入 (億円) | 307 | 274 | △ 10.6 |
| 貨物輸送重量 (千トン) | 436 | 393 | △ 9.8 |
| 貨物トンキロ*4 (百万トンキロ) | 448 | 408 | △ 8.9 |
| 国際線貨物 | 前期 | 当期 | 増減率(%) |
| 貨物収入 (億円) | 1,180 | 1,250 | 5.9 |
| 貨物輸送重量 (千トン) | 994 | 913 | △ 8.1 |
| 貨物トンキロ*4 (百万トンキロ) | 4,474 | 4,318 | △ 3.5 |

※決算に関する資料は当社ホームページでもご覧になれます。
www.ana.co.jp/group/investors/

ANAホールディングス 株主・投資家情報 検索

LCC

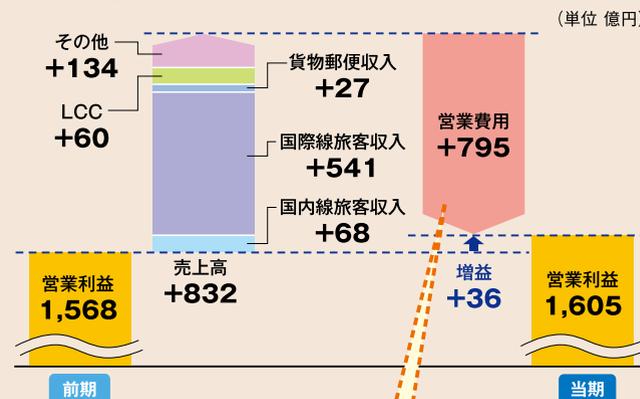
- 路線の拡大・訪日需要の取り込みで旅客数・収入共に増加。
- 沖縄ー高雄線、関西ー釧路線等の開設でネットワーク拡充。
- Peach・バニラエア統合に向けて営業面で協力を強化。

| | 前期 | 当期 | 増減率(%) |
|---------------|------|------|--------|
| 旅客収入 (億円) | 875 | 936 | 6.9 |
| 旅客数 (万人) | 779 | 815 | 4.6 |
| 座席キロ*1 (億席キロ) | 118 | 120 | 1.9 |
| 旅客キロ*2 (億人キロ) | 102 | 103 | 1.8 |
| 利用率*3 (%) | 86.3 | 86.2 | △ 0.1 |

その他の航空事業

- 収入*5は2,118億円となり、前期から6.8%増加。

●航空事業の営業利益変動要因(前期との比較)



- 費用増の要因
- ・燃油費・燃料税 +330億円
 - ・空港使用料、機材費、人件費、外部委託費などの生産連動費用 +381億円
 - ・販売関連費用、機内サービス費などの収入連動費用 +118億円
 - ・機材以外の減価償却費、整備費等 △34億円

※1 座席キロ=有効座席数×各区間距離(キロメートル)
 ※2 旅客キロ=旅客数×各区間距離(キロメートル)
 ※3 利用率=旅客キロ÷座席キロ
 ※4 貨物トンキロ=貨物輸送重量(トン)×各区間距離(キロメートル)
 ※5 マイレージ付帯収入、機内販売収入、受託整備収入等

2020年3月期の見通し

※金額は、表示単位未満の端数を切り捨てています。

「2018~2022年度 ANAグループ中期経営戦略」を着実に実施し、配当は1株につき75円を予定

■国際線旅客事業

- 成田ーパース線、成田ーチェンナイ線を新規開設。
- 成田ーホノルル線にエアバスA380型機「FLYING HONU」就航。
- 成田ーシンガポール線等にボーイング787-10型機投入。

■国内線旅客事業

- 成田ー中部線を増便、国際線接続需要を取り込み。

■貨物事業

- 国際線に大型貨物機ボーイング777F型機を導入。

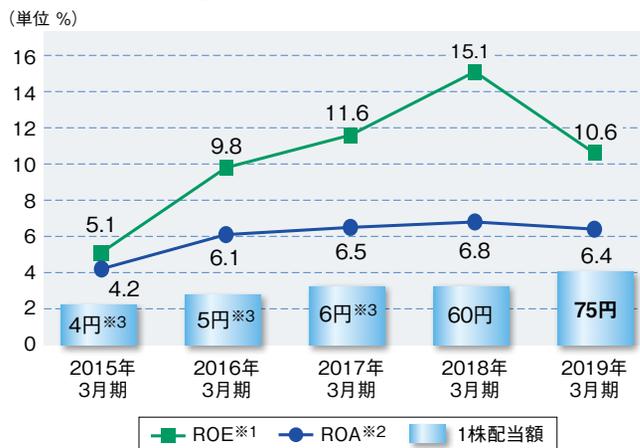
■LCC事業

- 新千歳ーソウル線の新規開設等でネットワーク拡充。
- バニラエアからPeachへの路線移管を2019年10月末までに完了。

●2020年3月期 連結業績見通し

| (単位 億円) | 当期実績 (2019年3月期) | 次期の見通し (2020年3月期) | 増減 |
|---------------------|--------------------|----------------------|------|
| 売上高 | 20,583 | 21,500 | 916 |
| 営業利益 | 1,650 | 1,650 | △ 0 |
| 経常利益 | 1,566 | 1,600 | 33 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,107 | 1,080 | △ 27 |
| 1株配当額(円) | 75円 | 75円 | — |

●財務指標と配当額の推移



※1 ROE(自己資本利益率) = 当期純利益 ÷ 期中平均自己資本 × 100 (%)

※2 ROA(総資産事業利益率) = (営業利益 + 受取利息 + 配当金) ÷ 期中平均総資産 × 100 (%)

※3 2017年10月1日に株式併合を実施。2015年3月期の配当額4円は現在の40円に、2016年3月期の配当額5円は現在の50円に、2017年3月期の配当額6円は現在の60円に相当します。

Q & A

2019年度は1,000億円近くの増収を見込んでいますが、営業利益が前期並みなのは、なぜですか？

首都圏空港の国際線発着枠の拡大が予定されている2020年度に向けて、2019年度を「安全と品質・サービスの総仕上げ」の年と位置付けており、当社グループでは2020年度の国際線事業拡大に備え、より万全の運航体制を確立するとともに、最高の品質を追求していく方針です。このため、2019年度は事業規模の拡大に先行して、グループ人件費や機材関連費用等が増加する予定です。

ANA HOLDINGS Data

会社概要

2019年3月31日現在

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 商号 | ANAホールディングス株式会社 ANA HOLDINGS INC. |
| 設立 | 1952年12月 |
| 本社所在地 | 東京都港区東新橋一丁目5番2号 |
| 資本金 | 3,187億8,942万6,788円 |
| 従業員数 | 187人 (グループ従業員数 43,466人) |

役員

2019年6月21日現在

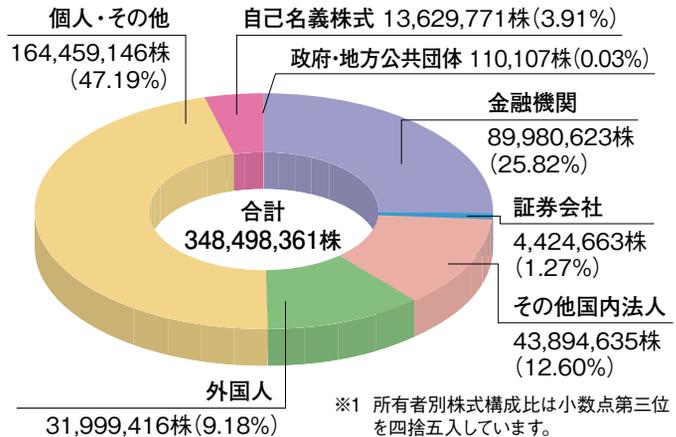
| | |
|---------------|---------------|
| 取締役会長 | 伊東 信一郎 |
| 代表取締役社長 | 片野坂 真哉 |
| 代表取締役副社長 執行役員 | 長峯 豊之 |
| 取締役 常務執行役員 | 高田 直人 |
| | 伊東 裕 |
| 取締役 執行役員 | 福澤 一郎 |
| 取締役 | 平子 裕志 |
| | 森 詳介(社外取締役) |
| | 山本 亜土(社外取締役) |
| | 小林 いずみ(社外取締役) |
| 常勤監査役 | 加納 望(社外監査役) |
| | 殿元 清司 |
| | 長谷川 昭彦 |
| 監査役 | 松尾 新吾(社外監査役) |
| | 小川 英治(社外監査役) |
| 上席執行役員 | 芝田 浩二 |
| | 石坂 直人 |
| | 國分 裕之 |
| | 満倉 達彦 |

株式の状況

2019年3月31日現在

| | |
|----------|---------------------------|
| 発行可能株式総数 | 5億1,000万株 |
| 発行済株式総数 | 3億4,849万8,361株 |
| 株主数 | 485,514名(2018年9月末より208名減) |

●所有者別株式の状況※1



●大株主(上位10名)

| 株主名 | 所有株式数※2 | 持株比率※3 |
|--|----------|--------|
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) | 19,197千株 | 5.73% |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 11,813千株 | 3.53% |
| 名古屋鉄道株式会社 | 7,313千株 | 2.18% |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5) | 6,803千株 | 2.03% |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口1) | 4,518千株 | 1.35% |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口2) | 4,215千株 | 1.26% |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口7) | 4,180千株 | 1.25% |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 4,039千株 | 1.21% |
| STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 | 3,817千株 | 1.14% |
| 全日空社員持株会 | 3,599千株 | 1.07% |

※2 千株未満は切り捨てています。

※3 持株比率は自己株式(13,629千株)を控除して計算し、小数点第三位を四捨五入しています。

「すべてのひとに優しい空」を —ANAのユニバーサルなサービス



©Rodney A. Greenblat/IP

ANAグループはすべてのお客様が、より安心・快適に飛行機をご利用いただくための取り組みを強化しています。

ANAの「ユニバーサルなサービス」とは、「文化・言語・国籍・年齢や性別・障がい・能力を問わず、多くの方がストレスなくご利用できる施設・商品・情報・サービス」と定義しています。

どなたにもご利用しやすい空を目指して

今後は特に、ご高齢のお客様やおからだの不自由なお客様、外国人のお客様にとって、よりご利用しやすいANAを目指して、ご旅行前→ご出発空港→機内→ご到着後までのすべての場面で改善を進めていきます。

ご旅行前にご相談をお受けする「ANAおからだの不自由な方の相談デスク」「ANAあんしんご予約デスク」の充実やANAウェブサイト、国内空港や機内の施設・設備等のハード面の整備、係員の接遇をはじめとしたソフト面のさらなる改善等を、それぞれ図ってまいります。

ご予約・お問い合わせ

ANAおからだの不自由な方の相談デスク (9:00~17:00)

0120-029-377* / 0570-029-377
*携帯電話からはご利用いただけません。

URL:www.ana.co.jp/skyassist
FAXやメール、テレビ電話を使って手話や筆談でもお問い合わせ可能。お客様の情報をお預かりし、関係部署と連携。

ANAあんしんご予約デスク

0570-029-701 (9:00~18:00)

URL:www.ana.co.jp/support/
初めての搭乗やご高齢のお客様等のお手伝い。

搭乗手続き

座ったままお手続き

搭乗手続きカウンター、ラウンジ受付に順次ローカウンターを設置*。



ローカウンター

ご案内

コミュニケーション支援ボードを使ってサポート

耳や言葉に障がいのあるお客様や外国人のお客様とのコミュニケーションをサポートできるよう、空港に遠隔手話サービスや係員の声を文字化するための端末を配備。機内には筆談機能や発話機能を備えた17種類の言語に対応するタブレット端末を配備。



羽田空港国内線
出発カウンター



「コミュニケーション
支援ボード」を利用
してご案内



機内タブレットの画面



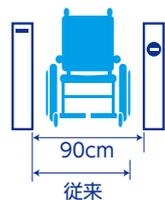
ご搭乗・ご降機

**ワイドな改札機を
設置中***

ベビーカーや車いすもラクラク通過。



通過しやすいワイドな
改札機



空港内の長い移動も安心!

保安検査機に反応しない「樹脂製車いす」や歩行の助けとなる「歩行車」を全国の空港に設置。



樹脂製車いす

外側の大きな車輪を外すとそのまま機内通路も通過可能



搭乗橋とプロペラ機を接続

車いすのお客様や足の不自由なお客様も風雨の影響を受けずに安心してプロペラ機に搭乗できる搭乗橋アダプターを空港に設置。



プロペラ機用
搭乗橋アダプター

機内

**スイスイ移動できる
機内専用車いす**

機内の狭い通路でも移動や回転がしやすいANAオリジナルの「機内専用車いす」を配備中*。



機内専用車いす

車いすで利用可能な化粧室を小型ジェット機(A320neo/A321)にも設置

ご到着後

**ご到着空港でも
お客様をお迎え**

ターミナルビルから目的地へご出発するまでサポート。



到着ロビーまでご案内

心のバリアフリー推進に 向けた人づくり

ANAグループは「ハートとハードの両輪」で、「すべてのひとに優しい空」を目指しています。



社内教育

ANAグループ全役職員を対象に、ユニバーサルサービス実技研修や高齢者や障がい者施設へ向いて実施する体験型セミナーを実施しています。



疑似体験中の当社役員

社外向けセミナー

ANA便をご利用いただく特別支援学校等の皆様が修学旅行前の不安を払拭できるよう「搭乗支援授業プログラム」の準備を進めています。



特別支援学校での出張授業



成田空港での体験搭乗

「ANAホールディングス ソーシャルボンド」を発行

2019年5月22日、「ANAホールディングス ソーシャルボンド」(発行金額50億円)を発行しました。ANAグループは「環境」「人権」「ダイバーシティ&インクルージョン」「地域創生」への適切な対応を経営の重要課題と位置付けており、この資金をお客様への「ユニバーサルなサービス」の提供、および障がいのある方などの多様な人材が働くための設備投資資金の一部に充当します。

*国内各空港での現在の対応状況につきましては、詳細は下記をご参照ください。

特設サイト <https://www.ana.co.jp/hbhf/promotion/universal/anamo/>

●エアバスA380 (1機)

全幅79.8m・全長72.7m・全高24.1m
航続距離13,330km
座席数520席



●ボーイング787-10 (1機)

全幅60.1m・全長68.3m・全高17.0m
航続距離11,600km
座席数294席



●ボーイング767-300 (29機)

全幅47.6m (-300ERW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離3,370km (-300ER 10,030km/10,820km)
座席数270席 (-300ER 202席/214席)



●エアバスA320-200 (5機)*/neo (9機)

全幅34.1m (neo 35.8m)・全長37.6m・
全高11.8m (neo 12.1m)
航続距離2,380km (neo 5,790km)
座席数166席/180席
(neo 146席)



●ボーイング737-500 (7機)

全幅28.9m・全長31.0m・全高11.1m
航続距離2,780km
座席数126席



●ボーイング777-300 (29機)

全幅60.9m (-300ER 64.8m)・全長73.9m・全高18.5m
航続距離3,800km (-300ER 14,900km)
座席数514席 (-300ER 212席/250席/264席)



●ボーイング787-9 (30機)

全幅60.1m・全長62.8m・全高17.0m
航続距離10,690km (14,960km/14,200km)
座席数395席 (215席/246席)



●ボーイング767-300F/300BCF (12機) (貨物専用機)

全幅47.6m (-300FW 50.9m)・全長54.9m・全高15.9m
航続距離(最大積載時) 5,970km (-300F) /
5,750km (-300BCF)



●ボーイング737-800 (40機)

全幅35.8m・全長39.5m・全高12.5m
航続距離3,900km
座席数166席



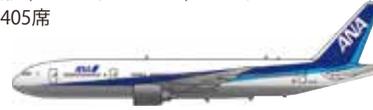
●ボンバルディアDHC8-400 (24機)

全幅28.4m・全長32.8m・全高8.3m
航続距離2,020km
座席数74席



●ボーイング777-200 (20機)

全幅60.9m・全長63.7m・全高18.5m
航続距離3,800km (-200ER 14,500km)
座席数405席



●ボーイング787-8 (36機)

全幅60.1m・全長56.7m・全高16.9m
航続距離4,890km (14,800km/14,740km/12,020km)
座席数335席 (169席/184席/240席)



●エアバスA321 ceo (4機)/neo (11機)

全幅35.8m・全長44.5m・全高11.8m
航続距離ceo 2,720km (neo 5,130km)
座席数194席



●ボーイング737-700 (7機)

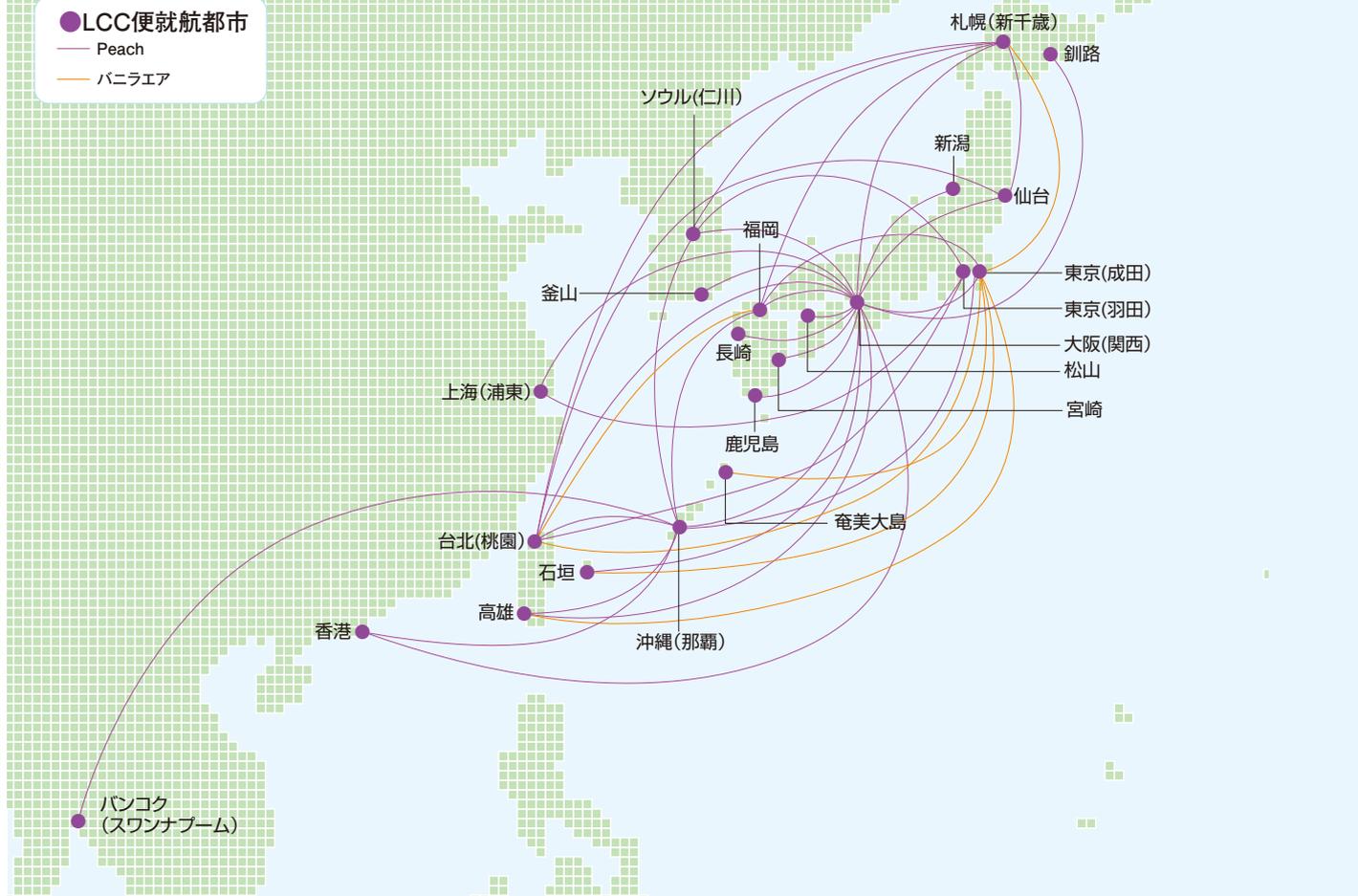
全幅35.8m・全長33.6m・全高12.5m
航続距離4,900km
座席数120席



※Peachとバニラエアの運航機材を含んでいません。

合計 265機

上記のほか、当社が所有および賃借している航空機でグループ外へ賃貸している航空機が19機あります。なお、航続距離は最新の性能データによるものです。



10月27日からPeachがLCC全路線を運航

Peachとバニラエアは2019年度内に経営統合する予定です。



Peach

エアバスA320-200型機
機材数: 24機*
路線数: 国内線 17路線
国際線 17路線



バニラエア

エアバスA320-200型機
機材数: 15機*
路線数: 国内線 3路線
国際線 3路線

ANA

●FLYING HONU、成田ーホノルル線に就航

5月24日、ウミガメをモチーフにした機体塗装の世界最大の旅客機エアバスA380型機「FLYING HONU(フライング・ホヌ)」が成田空港を離陸、ホノルルに向け運航を開始しました。7月1日以降は運航を週3往復(火・金・日)から、週10往復まで拡大。ANAは新たなハワイ体験を提供してまいります。



成田空港を出発する
FLYING HONU
1号機



●世界最高評価「5スター」を7年連続で獲得

4月1日、ANAは英国スカイトラックス社※1が運営するワールド・エアライン・スター・レーティングで、世界最高評価となる「5スター」※2に7年連続で認定されました。これはスタッフのサービスレベルの高さ、安全で快適な空の旅を提供するための恒常的な改善努力が評価されたものです。次回も「5スター」の評価を獲得できるように、努力してまいります。

※1 英国・ロンドンに拠点を置く航空会社のサービスを総合的に評価する会社です。

※2 「5スター」の認定を受けた航空会社は世界で11社のみです。



2018年に行われた
授賞式(前回)

●「2019 J-Winダイバーシティ・アワード」大賞を受賞

3月14日、特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク(J-Win)が主催する「2019 J-Winダイバーシティ・アワード」※で、企業賞「アドバンス部門」の大賞を受賞しました。今回の受賞では、「経営トップのコミットメントと強力な推進体制」「男性の意識改革」「働き方の変革」の取り組みを評価していただきました。

※D&I(ダイバーシティ・アンド・インクルージョン=多様な価値観を互いに尊重し、一人ひとりが最大限の強みを発揮できる環境整備と風土づくりに取り組むこと)を推進している先進企業の表彰を通じて、日本企業のD&I推進を加速する目的で、2008年より毎年実施されています。



表彰を受ける平子裕志
ANA社長(中央)

「ANA Blue Academy」をさらに充実!

ANAでは2017年10月より、自分の夢や未来を考える力を育む新スタイルの航空教室「ANA Blue Academy ミライつく〜る」を開催し、これまでに全国の小学校で約4,000人の子どもたちに受講していただきました。

2019年度からは、ブラインドサッカー体験を通じて共生社会について考える新プログラム「ANA Blue Academy ともにつく〜る」をNPO法人日本ブラインドサッカー協会と共同で全国展開します。

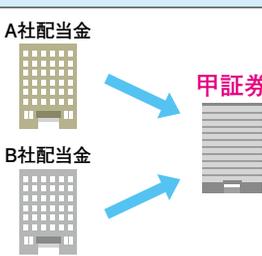
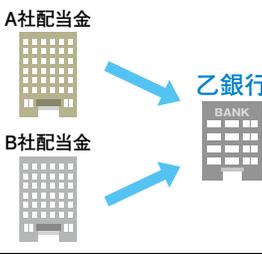
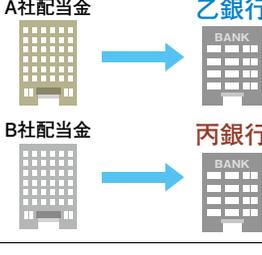


配当金を「配当金領収証」で受領されている株主様へ

スピーディーで安全・確実！ 配当金をご指定の銀行等の預金口座でお受け取り

配当金を銀行等の預金口座へ入金する手続きをしていただきますと、**配当金支払開始日**に株主様ご指定の口座に振り込まれ、**スピーディーで安全・確実に配当金をお受け取り**いただくことができます。ぜひご検討くださいますようお願い申し上げます。

■振込手続き方式のご案内 次の3種類の中からお選びいただけます。

| 方式 | ご留意事項 |
|--|---|
| <p>株式数比例配分方式</p> <p>ご所有のすべての株式等の配当金をお取引の証券会社の口座を通して受領する方式です。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●少額投資非課税口座(NISA口座)を開設し、配当金について非課税の適用を受けるためには、この方式を選択していただく必要があります。 |
| <p>登録配当金受領口座方式</p> <p>ご所有のすべての株式等の配当金をご指定の一つの銀行等の預金口座で受領する方式です。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●振込先口座に「ゆうちょ銀行」の口座をご指定することはできません。 ●この方式は銘柄ごとに都度ご連絡いただく必要はございません。 |
| <p>個別銘柄指定方式</p> <p>ご所有の銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座で配当金を受領する方式です。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●振込先口座に「ゆうちょ銀行」の口座をご指定することができない銘柄もあります(下記の三井住友信託銀行のお問い合わせ先にご確認ください)。 |

お問い合わせ先

証券会社の口座で株式を保有されている株主様 ➔ お取引の証券会社

証券会社に株式を預託されていない株主様(特別口座の株主様) ➔ 三井住友信託銀行

三井住友信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間:平日9:00~17:00)
(郵便物送付先:〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号)

※特別口座のままではご売却できないため、ご売却される場合は、証券会社に口座を開設していただく必要があります。特別口座の方は三井住友信託銀行へお問い合わせください。

ANAの株主優待サービス

インターネットからもご覧になれます。

ANAホールディングス 検索 → 株主・投資家情報 → 株式情報 → 株主 優待のご案内

ANAホールディングス株式会社では、ご所有株式数に応じて、「国内線ご搭乗優待」「ANAグループご優待」の株主優待サービスを実施しております。今回は、2019年9月30日に100株以上ご所有の株主様に、2019年11月中旬に発送予定です。

株主優待発行基準

| 発行基準日* | 発送日 | 国内線ご搭乗優待 | ANAグループご優待 |
|--------|-------|--|--------------------------------------|
| 3月31日 | 5月中旬 | 株主優待番号 ご案内書 有効期間6/1~翌年5/31 | ANAグループ優待券 上期分 有効期間6/1~11/30 |
| 9月30日 | 11月中旬 | 株主優待番号 ご案内書 有効期間12/1~翌年11/30 | ANAグループ優待券 下期分 有効期間12/1~翌年5/31 |

*株主優待発行基準日

複数の証券会社をご利用の場合、届出住所と株主名が同一であれば、お一人の株主様として所有株式を合算(名寄せ)した上でお取り扱いいたします。

権利付最終日変更のお知らせ

2019年7月16日以降のお取引より、株式等の受渡日が、取引日の4営業日目から3営業日目へと1営業日短縮されます。新規に株式を購入される場合は、発行基準日から起算して3営業日前(権利付最終日)までに、ご購入手続きをお済ませください。なお、今回の権利付最終日は、**2019年9月26日(木)**です。詳細はお取引のある証券会社にお問い合わせください。

国内線ご搭乗優待

100株以上ご所有の株主様に、ANAの国内全路線でご利用になれる**株主優待番号ご案内書**をご所有株式数に応じて発行いたします。

ご案内書記載の株主優待番号1つにつき、ANAの国内全路線の片道1区間が、「株主優待割引運賃」(ANA FLEX-D運賃の50%割引、小児*の場合は小児運賃の50%割引)でご利用になれます。

●ご予約・空席状況・運賃等に関しては、予約・案内センターまたは、ANAウェブサイトにてご照会ください。

*搭乗日の年齢が満3歳~11歳のお子様対象です。



株主優待番号ご案内書発行枚数表 (1枚未満の端数は切り捨て)

| ご所有株式数 | 【発行基準日】 3月31日 | 【発行基準日】 9月30日 |
|----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 有効期間 6/1から翌年5/31 | 有効期間 12/1から翌年11/30 |
| 100株~199株 | 1枚 | 1枚 |
| 200株~299株 | 2枚 | 2枚 |
| 300株~399株 | 3枚 | 3枚 |
| 400株~999株 | 4枚+400株超過分 200株ごとに1枚 | 4枚+400株超過分 200株ごとに1枚 |
| 1,000株~99,999株 | 7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚 | 7枚+1,000株超過分 400株ごとに1枚 |
| 100,000株~ | 254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚 | 254枚+100,000株超過分 800株ごとに1枚 |

ANAグループご優待

100株以上ご所有の株主様に、ANAグループ優待券をお一人様1冊、発行いたします。



IHG・ANA・ホテルズグループジャパンのご優待

- ご宿泊料金 (ベストフレキシブル料金(室料のみ)の20%割引券6枚)
- レストラン・バーご飲食代 (10%割引券5枚)
- ご婚礼のご飲食代 (10%割引券1枚)
- 会議・一般ご宴会室料 (15%割引券3枚)

ベストフレキシブル料金(室料のみ)とは
ご予約日やご滞在の日程によって料金変動するお得なご宿泊料金です。
ご優待内容について
上記のお得なベストフレキシブル料金(室料のみ)から、さらに20%割引の特別料金をご提供いたします。

*ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューとしての営業は、2019年7月11日に終了するため、同日をもって株主様向けご優待の取り扱いを終了させていただきます。

国内・海外旅行

パッケージツアー商品のご優待

- ANAスカイホリデー(国内)
- ANAハローツアー(海外)
- ANAワンダーアース(海外)
(上記ツアー共通7%割引券6枚)



空港内売店・免税店のご優待

(10%割引券5枚)



ANA FESTA



ANA DUTY FREE SHOP

株主様限定 通信販売

下記の他、お薦めの商品を株主の皆様に特別価格にてご提供しております。詳しくは、2019年上期分の「ANAグループ優待券」をご覧ください。



ゴルフプレー料金のご優待

- 「武蔵の杜カントリークラブ」(埼玉) (割引券4枚)
- 「早来カントリー倶楽部」(北海道) (割引券3枚)



武蔵の杜カントリークラブ



早来カントリー倶楽部

*ここに記載した「ANAグループ優待券」の内容は2019年上期発行のものであり、今後変更になることもございます。

ANAの株主優待サービス Q&A

Q 株主優待番号ご案内書はコードシェア便でも使えますか?

A ANA国内線運航便のほかに、エア・ドゥ(ADO)、IBEXエアラインズ(IBX)、ソラシド エア(SNA)、スターフライヤー(SFJ)、オリエンタルエアブリッジ(ORC)が運航するANA便名のコードシェア便もご利用になれます。

Q 株主優待番号ご案内書の有効期間に変更はありますか?

A ありません。従来通り有効期間は「ご搭乗可能期間」です。株主優待割引運賃でご利用の際には、ご搭乗日に有効な株主優待番号ご案内書が必要です。

Q 株主優待番号ご案内書は国際線に使えますか?

A 国際線のご搭乗にはご利用になれません。

株主メモ

| | |
|----------|---|
| ■ 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日 |
| ■ 定時株主総会 | 毎年4月1日から3カ月以内に開催 |
| ■ 基準日 | 定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金受領確定日 毎年3月31日 ※中間配当金制度は採用していません。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 株主優待割当確定日 毎年3月31日および9月30日 |
| ■ 単元株式数 | 100株 |
| ■ 公告の方法 | 当社のホームページに掲載します。 ANAホールディングス <input type="button" value="検索"/> |
| ■ 証券コード | 9202 |

| | |
|-------------------------|--|
| ■ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| ■ 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 |
| ■ 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 |
| ■ 電話照会先 (通話料無料) |  0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・祝 12/31~1/3休) |
| ■ 三井住友信託銀行ホームページ | <input type="button" value="三井住友信託銀行証券代行部"/> <input type="button" value="検索"/> |

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用になっていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

「株主様専用サイト」にご登録はお済みですか？

100株以上ご所有の株主様を対象に、「株主様専用サイト」を開設しています。ご登録いただきますと各種お知らせやおトクな情報などをタイムリーにメール配信いたします！
既にご登録されている株主様は、改めてのご登録は不要です。

<https://sh.anahd.co.jp>



【株主優待送付のご案内】

| | | | |
|------|------------------------|------------|----------------|
| 株主番号 | 2019年3月31日現在 ご所有株主数 | 株主優待送付のご案内 | ANAグループ 優待券 |
| | 株 | 株 | 株 |
| | | | 1 |

※同様の「株主優待送付のご案内」の枚数をご確認ください。株主優待送付は、「株主優待送付のご案内」の「1」に記載された100株以上の株数を表示しております。

株主優待送付のご案内
詳細：年末より数週のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
【ご登録の郵便番号、株主優待番号のご案内】
「ANAグループ優待券」を発送いたします。
優待の申請はANAグループ優待券の発行ページにて実施させていただきます。お申し込みは、お申し込みの欄からご登録を賜りますようお願い申し上げます。

2019年5月
ANAホールディングス株式会社
代表取締役社長 野原 貴哉

ANAホールディングス株式会社 www.ana.co.jp/group/

〒105-7140 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター
グループ総務部 株式チーム

電話03-6735-1001 (受付時間 平日9:00~12:00・13:00~17:00/土・日・祝・12/29~1/3・5/1 休)

